

第3章 主要指標の見通し

(1) 新市の推計人口の見通し

新市の推計人口は、「日本の市区町村別将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所）によると平成32年（2020年）には663,080人になると推計されています。

わが国の人口は、将来的には減少していくと予測されており、岡山県の人口も1,950,828人から平成32年には1,855,974人に減少すると推計されています。

この推計では、新市の平成22年人口は667,906人（以下この章において「22推計値」という。）と推計されていましたが、平成22年国勢調査結果では、1市2町の合計人口は688,294人となっており、22推計値に対し、20,388人、約3.1%上回っています。

人口増加を都市の魅力度のバロメーターと位置づけ、今後、新市においては、魅力ある都市づくりにより、さらなる定住人口の増加をめざしたいと考えています。

新 市 の 推 計 人 口 (単位：人)

区 分	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	
岡 山 県 総 人 口	1,950,828	1,957,264	1,945,276	1,900,725	1,855,974	
各 市 町	岡 山 市	626,642	648,779	662,712	642,709	638,396
	御 津 町	10,214	10,111	9,738	8,746	8,211
	灘 崎 町	15,823	15,856	15,844	16,599	16,473
新 市 計	652,679	674,746	688,294	668,054	663,080	

(注) 平成12～22年は国勢調査，平成27・32年は日本の市区町村別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所，平成15年12月推計資料）による。

(2) 少子・高齢化は確実に進行する見通し

新市の年齢別の将来人口を推計すると、少子・高齢化は確実に進行し、特に高齢化率においては、平成32年に25.2%まで上昇するものと推計されます。

したがって、少子・高齢社会の到来に備え、医療・介護等、福祉関係費をはじめとする行政経費の増大への対応、また、関連する行政サービスの向上を図る必要があります。

新市の年齢階層別推計人口

(単位：人)

区 分		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年
年 齢 別	年少人口(0～14歳)	100,133	97,819	97,653	93,391	88,571
	構 成 比	15.3%	14.5%	14.2%	14.0%	13.4%
	生産年齢人口 (15～64歳)	443,181	447,353	437,862	413,910	407,389
	構 成 比	67.9%	66.3%	63.6%	62.0%	61.4%
	老年人口(65歳以上)	109,223	126,390	144,707	160,753	167,120
	構 成 比	16.7%	18.7%	21.0%	24.0%	25.2%
	総 数	652,679	674,746	688,294	668,054	663,080
	構 成 比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(注) 1. 平成12～22年は国勢調査，平成27・32年は日本の市区町村別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所，平成15年12月推計資料）による。

2. 総数には，年齢「不詳」を含む。